

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして  
みんなが  
**住んでよかつた**  
と思える川西市に...

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)  
直通FAX 759-1811  
黒田みち事務所 TEL 795-4760  
たんぽぽだよりブログ  
http://kurodamich.exblog.jp

## 現病院跡地に今井病院の移転案提示 回復期等病床 160床、診療所案を変更



新型コロナウイルスの感染対策に追われたこの数か月。命を守る十分な検査・医療体制の必要性を痛感させられる日々でした。改めて「現川西病院をなくさないで」「入院できる病院が必要」の声が高まり、全国でも「病院の統廃合やベッド削減を止めるべき」「保健所の復活を」の意見が広がっています。そんなおりの6月18日、「市立病院整備調査特別委員会」が開かれ、市から医療法人晴風園(説明①)・今井病院(猪名川町)の現川西病院敷地への移転計画が提示されました。

### 今井病院から申し入れ

今回の計画は、昨年12月に晴風園から市に打診、今年1月に同提案があり、市は提案を評価し前向きに検討する方針です。

### 診療所からは改善

また、医療機関の連携を強めるため、晴風園、協和会、市医師会(協議中)と地域医療連携推進法人を立ち上げ、参加法人間の病床の融通や診療科の確保を進める方針です。

### 地域連携法人化

猪名川町にある今井病院は、内科、外科、整形、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科があり、回復期病床31、障害者・一般病床80床の病院です。(病院のHPより)  
計画では今井病院が、現川西病院敷地に移転し、160床(回復期・慢性期)の新病院を建設します。敷地は市が無償で貸与する予定です。

CT検査を実施し、地域の診療所からの検査依頼に対応するとしています。  
現行の「医療構想」では、北部診療所(表①)を建設、現病院を解体する計画でした。これには、①入院機能がなくなる、②CT・MRIなどの検査機能がなくなる、③市北部に入院・手術ができる二次救急病院の空白地ができるという大問題に憤りや不安の声があがっています。

### 応急診療所を移設

市役所北にある市の「応急診療所機能」を移転し、内科の日曜・祝日・年末年始の休日診療に対応(10:00~11:30、13:00~16:30)します。



早ければ3年後

表① 「(仮称)川西市立総合医療センター基本構想」北部診療所計画

	月~金	土・日・祝日
午前	内科3診、整形外科1診、小児科1診 外科等その他1診 計6診	内科1診、整形外科1診 小児科1診 計3診
午後以降	内科1診 (24時間急病対応)	

※ 院内開業を2診誘致予定 (市の構想より抜粋)  
※ 北部診療所とキセラ川西センター間のシャトルバスを運行予定

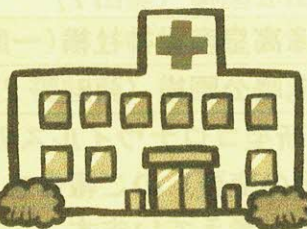
ただ、外来や応急機能はどうなるか。北部診療所では平日内科3診、整形外科1診、外科など1診、小児科1診、内科1診は24時間診療の計画でしたが、今後、診療科や院内設置か院外設置か、などを協議、検討し具体化するとしています。

「構想」北部診療所計画 表①

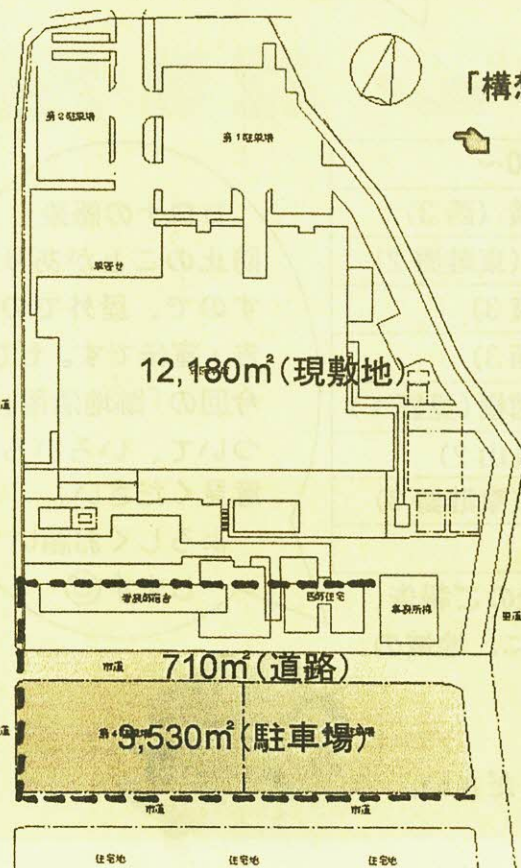
➡ 第一駐車場に診療所建設

晴風園・今井病院提案  
➡ ①現病院解体後  
2026年4月開院予定

➡ ②医師住宅  
看護師宿舎解体  
南側駐車場使用  
2023年4月  
開院予定  
(敷地の約3割)



現病院敷地・配置図



開業時期は、現病院解体場所に建設する場合は2026・令和8年4月南側駐車場などの場合は、2023・令和5年4月予定としています。  
7割の跡地は今後...  
現病院の土地の約3割は新病院建設に充てられます。残る7割の跡地利用については、介護などの複合施設案は再検討されます。跡地の活用は地域で開催されたタウンミーティングで高齢者のためだけでなく、障がい者・児施設や子育て施設の整備などの要望があり、地域住民の声や願いをしっかりと届けていきたいと思います。

説明① 医療法人晴風園  
今井病院(猪名川町)で111床(回復期リハビリテーション病床、障がい者一般病床)。「阪神リハビリテーション病院」「介護老人保健施設せいふう若葉」など3病院、3老健施設、1グループホーム、2訪問看護ステーション、1居宅介護支援事業所  
(法人ホームページより抜粋)